

2022年4月17日（日）、外国人と日本人と一緒に、西尾市観光協会が行った「茶摘み体験」をしました。

その日は、天気が心配でしたが、何とか実施することができました。外国人は、見ることも、やることも初めてで、茶摘み体験を楽しむことができました。西尾市を代表するお茶について、体験することができ、大変良かったです。外国人三人から、感想文が届いていますので、ここに紹介します。



## 西尾市で茶摘み体験をした感想

私にとって日本は第二の故郷のようです。非常に大好きです。1年前まで4年間東京に住んでいましたが、再び日本に戻ってきて、住み心地のよい愛知県の西尾市に迎えていただきました。初めて愛知県で住み始めましたのでここでの生活をとても楽しみにしています。西尾市は歴史的な市で、お城があるし、特産と言えば抹茶、海老せん、ウナギなどという有名な食べ物があると知りました。

4月17日に西尾市の日本語のボランティアの先生達が、私たち生徒を茶摘みに連れて行ってくださいました。茶摘み体験は初めてでしたが、愛知県の飲食文化を味わえ、日本人と一緒に屋外活動を体験することができました。この思い出を大切にしたいと思います。

当日の昼、おかげさまで雨が止んで茶摘みの体験をすることが出来ました。先生方は車3台で私たち6人の生徒を西尾市の茶園まで送ってくださいました。そこで、茶園の方が、西尾市の抹茶の歴史や茶摘みの方法、生茶の葉で料理を作る方法までも親切に詳しく教えてくださいました。私たちは茶畑に入って、一緒に並んでおしゃべりしながら茶摘みを始めました。みんなで楽しく茶摘みをしました。最後は着物のような茶摘みの服を着て、沢山記念写真を撮りました。みんな可愛くて面白い服装をはじめて着られて、笑い声をあげながら嬉しい顔をしていました。自分が摘んだ茶葉と、生の茶の枝を一本プレゼントして頂きました。

帰り道で、抹茶から作られた食べ物を味わえる雰囲気の良い飲食店に寄って、みんなと一緒に楽しく味わいました。

先日私はアルバイトの帰り道、偶然名鉄線の電車の旅行新聞を見ました。びっくりしたことに、新聞に

は西尾市の抹茶のことが書いてありました。自分の住んでいる地方ですから、読んで嬉しく、誇りを持つことができました。

自分が取った生茶の枝は水と一緒に花瓶に入れました。今新しい芽が出てきました。取った茶の枝は2週間後もまだ生きています。茶をはじめ、植物の命に不思議に感動しました。順調に成長している枝を見ると、新しいエネルギーをくれますし、それに素敵な茶摘みの日を思い出します。

西尾市のボランティアの方々に感謝しております。ボランティアの方々は私たち外国人に熱心に日本語を教えてくださいただけではなく、地方の文化や日本の文化も親切に味わせてくださいます。これからも西尾市で楽しく過ごしたいと思えます。よろしく願いいたします。

(ダン チャ ジャン さん)



## 茶摘み体験

日本に来る前、私は何度も日本の茶道について聞いていました。その文化を一度体験したいです。全国一流の抹茶生産で有名な西尾で働き、暮らしている私は幸運です。稲荷山茶園公園で先生や友達と素晴らしい茶摘み体験をしました。稲荷山茶園公園は約100ヘクタールの広さがあるので、そこに立ってみると、広大な緑色に圧倒されました。自分が小さく感じます。ここに来ると別の世界、未知の世界に迷いました。お茶の木の所で写真を撮ることができるのは、ここに来ると面白いことです。茶樹の歴史の説明を聞き、最高の茶葉の選び方を具体的に説明して頂きました。かすり着物を着てお茶を摘みました。素晴らしい体験でした。

おもしろいツアーを終えてから、家に帰り、美味しくお茶を入れて、みんなと一緒に楽しんで、ここで体験したおもしろいことをみんなに話しました。とても興奮してしまいました。

( Anh Pham さん)



そして、カルメンさんからも「肌寒くって少し雨の日でしたのに茶摘み体験ができたのが良かったです。今日私たちは葉っぱを摘んで茶摘み衣装を着ました。両方が面白かったです。しかし、今日の中で一番心に残ったのは皆と良い思い出を作ったことです。先生たちの別の側面を知るのはすごく楽しかったです！外国人にお茶摘み一回やってみるのはおすすめです。今日葉っぱを摘むのを頑張りましたが、袋は四分の一しかできませんでした。摘んだ葉っぱで美味しい料理を作ってみます。」という感想が届いています。

ありがとうございました。みなさん、日本語が上手ですね。